

2021年度 研修会ご案内



一般社団法人 東京都医療社会事業協会

研修参加希望の皆様は、以下の事項をお読み頂いた上、お申込み下さい。

【申込み要件】

全講座の申込み資格	東京都医療社会事業協会の会員となります。 会費未納者は会費納入後にお申込み下さい(会費未納者は受講できません)。 また、学生会員は受講できません。
新人研修	一部、東京都の受託事業(東京都から研修費が出ています)となっているため、 応募者多数の場合は正会員(都内会員)を優先とさせていただきます。
グループスーパービジョン (A・B・C)	各グループスーパービジョンの受講者には成果編集として、全研修終了後、報告書(レポート)を提出して頂きます。東京都で「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子にして発行予定です。

※開始時間を厳守し、講師や他の受講者の迷惑とならないよう配慮して下さい。全回出席できることが申込みの基本条件となります。やむを得ない事情で欠席する際は各研修担当理事もしくは他の参加者に連絡して下さい。

※受講者は、連絡できる携帯電話番号・メールアドレスを事前に登録していただきます。

【申込み方法】

新人研修	①講座案内をよくご覧いただき、申込み方法をご確認の上、所定のメールアドレスへ必要事項を記入した講座申込書を添付して送信下さい。受講決定後、研修費用の振込用紙を郵送いたしますので、初回の研修が始まる1週間前までにお振込み下さい。なお、期間内で受付し、申込者多数の場合は担当者による抽選となります。詳しくは受講案内詳細をご覧ください。 ②協会員であることが必須条件です。よって、まだ入会していない方は、①の手続きと共に、入会申込みの手続きを済ませてください。
新人研修以外の講座	①講座案内をよくご覧いただき、申込み方法をご確認の上、所定のメールアドレスへ必要事項を記入した講座申込書を添付して送信下さい。 ②講座ごとに受付期間が異なりますので、各講座案内を確認の上、お申込み下さい。応募者多数の場合は先着順かつ初受講者を優先とします。

【注意事項その他】

※新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、今年度は原則Zoomでのオンライン開催となります。各研修の受講に際しては、インターネット環境やZoomを使用できるデバイスが必要です。特にスマートフォン等、ご自身の加入している通信契約によっては通信料が多額にかかってしまう可能性がありますので、十分にご確認の上、お申込み下さい。なお、今後社会状況が変化し、集合研修が可能となった際には、そちらに変更する可能性があります。また、次ページの注意事項もよくご確認の上、お申込み下さい。

※一つのグループに偏りがある場合は、教育部で調整させて頂く事があります。予めご了承下さい。

※参加者が定員に満たない場合は、追加募集を行う事もあります。

※多くの会員が受講できるよう、グループスーパービジョンに限り1人1講座の申し込みとさせていただきます。

※参加した講座で予定外の講義や合宿などを行う場合の費用は、全て自己負担となります。

※途中、講師などの事情により、講師や会場・日時の変更をする場合もあります。

※今年度は「(夜間)講座」を年2回計画しております。

※今年度は「SV養成講座(6月～2月 計8回)」、後半には連続講座を開催する予定です。詳細につきましては、開催時期が近くなりましたら、再度、ご案内致しますので奮ってご参加下さい。

オンライン研修 受講に際しての注意点

2021年度の研修は、全てZOOMを使用したオンライン研修となります。
そのため、受講する際には下記の点を確認の上、遵守して下さい。

【共通事項】

- パソコン・タブレット・スマートフォン等ZOOMを使用できるデバイスやウェブカメラ、マイク等は、各自でご準備をお願いします。協会から受講生に貸し出すことはありません。
- オンライン研修の受講に際して発生した通信料は、受講生の負担となります。
- 通信料に関しては、場合によっては多大な通信料が発生してしまう可能性がありますので、ご自身の契約内容をよくご確認ください。
- スマートフォンでの受講も可能ですが、画面の見やすさや操作の観点から、なるべくパソコンやタブレットでの受講をお勧めします。
- パソコンをお使いの方は、カメラやマイク・スピーカー等の準備が必要です。内蔵されていない場合は、外付けのものを各自ご準備下さい。
- アプリをインストールする際は、課金される可能性があるのか等、契約内容も確認することをお勧めします。
- OSやアプリのアップデートは欠かさずに行なうことをお勧めします。通常は、最新の状態のほうが安全性が高くなります。
- セキュリティ上、フリーWi-Fiの利用はしないで下さい。
- 外部に音が漏れることによる個人情報漏洩を防ぐため、個室での受講や、イヤホンやヘッドフォンを使うことをお願いします。
- オンライン研修に使うミーティングIDやパスワードを第3者に伝えること・SNSなどに掲載することを禁止します。(悪意ある第3者からの妨害行為を防ぐためです)
- 研修を録画・録音することは禁止します。また、研修内容をSNS等に掲載することも禁止します。
- ZOOMの操作によっては、ご自身の使用している端末の画面が、画面共有されてしまう可能性があります。第3者に見られたくないような情報(ネットバンク等)は、パスワードによるロックをかける・デスクトップからアイコンを隠す等の対策をして下さい。
- ご自身の背景が移りこみます。気になる方は、背景の変更をご自身で設定して下さい。

このガイドラインに違反する行為がわかった場合、協会として受講の取り消しや認定ポイントの取り消し等の対応を行う場合があります。また、ガイドラインを遵守しなかったことが原因で発生した問題については、協会はその責任は負いません。

2021年度 研修会予定一覧

研修名	講師	定員	認定医療社会福祉士 ポイント	
新人研修	協会依頼の講師	60名	特別講義	16
			役割理解	9
			個別援助技術	9
グループ スーパービジョン A	渡部 律子 先生 (前 日本女子大学教授)	9名	26	
グループ スーパービジョン B	石井 三智子 先生 (日本社会事業大学 非常勤講師)	9名	26	
グループ スーパービジョン C	助川 征雄 先生 (聖学院大学名誉教授)	9名	26	
スーパーバイザー 養成講座	福山 和女 先生 (ルーテル学院大学名誉教授)	12名	21	
連続講座	協会依頼の講師	20名	年度後半の開催を予定しております。 詳細につきましては、追って皆様にご案内いたします。	

※開催日時や開催時間については、各受講案内をご覧になった上で、お申込み下さい。

※認定医療社会福祉士のポイントは、該当講座の9割以上の出席で発行となります。

受講案内詳細【新人研修】

新人研修

講師	協会依頼の講師
開催日時	新人研修開催日程参照
会場	Zoomによるオンライン開催
対象者	経験年数3年未満の方 ※会員歴ではなく、ソーシャルワーカー経験3年未満です
定員	60名
費用	¥17,000円(消費税込) 一部東京都受託事業 申込み受付時に振込用紙を返送します。

申込み方法

受付期間：2021年7月9日(金)締め切り

申込方法：必要事項を記入した講座申込書を添付の上、下記のメールアドレスへお送りください。
また、メールをお送りする場合は、「2021研修申込」と標記の上、お送り下さい。
送信先アドレス：soudan@shinyamanote.jp (新山手病院 原田)

申込受付：基本的に上記期間内で受付けますが、応募者多数により、受講頂けない場合があります。万が一、受講頂けない場合は、担当者から申込者へ直接ご連絡させていただきますのでご了承下さい。ネット環境にアクセスできず、メールでの申込みができない場合は、協会事務局までご連絡下さい。

注意事項：協会員であることが必須条件です。理事会で入会承認が得られた方が対象になります。よって、まだ入会していない方は、研修申込み手続きと共に、入会申込みの手続きを早急に済ませてください。
入会の手続きに関しては、都協会ホームページをご参照ください。

受講費用：受講申込み期間終了後、受講決定者には受講決定通知と研修費用振込用紙等を郵送致します。必ず、受講費用の振込みを初回の研修が始まる1週間前までに完了して下さい。また、年会費に関しても必ず振込みを行った上でご参加ください。振込みが確認できなかった際は、個別にご連絡をさせていただく場合があります。

※申込みに関するお問合せ先(メールでお願いします)

<p>【教育部】 公益財団法人結核予防会 新山手病院 地域連携課 原田 剛 Email : soudan@shinyamanote.jp TEL : 042-391-1425(代表)</p>

2021年度 新人研修開催日程詳細案内

※講師敬称略

開催(日・時間)		内容		講師
9月	3日 (金)	特別講義	① オリエンテーション 自己紹介 この研修で目指すもの	当協会会長・教育部 小松 美智子
	17日 (金)		② 先輩ソーシャルワーカーからのお話	現任ソーシャルワーカー
10月	1日 (金)		③ 相談援助職の記録の書き方	福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター 特任准教授 アアリイ株式会社 代表取締役 八木 亜紀子
	15日 (金)		④ クライアントと向き合うこととは？ ～サバイバーの方からの話に学ぶ～	聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 山谷 佳子
	29日 (金)		⑤ ソーシャルワークにおける人間と 生活の理解 ～自己理解と関わらせて～	東洋大学ライフデザイン学部 生活支援学科 吉浦 輪
11月	12日 (金)		⑥ 事例から考える社会保障制度 ～障害年金等～	東京医科大学病院 総合相談・支援センター 副センター長(MSW) 藤平 輝明
11月	27日 (土)	役割理解	役割理解(1)	至誠会第二病院 樋口 昌彦
12月	11日 (土)		役割理解(2)	森山脳神経センター病院 仲谷 恵美子
1月	8日 (土)	個別援助技術	個別援助技術(1)	武蔵野大学客員教授 女性の暮らしやすさを考えるソーシャルワーク研究会
	22日 (土)		個別援助技術(2) ～修了式～	小松 美智子

Zoomによるオンライン開催

※講師およびその他の都合により日程が変更になる可能性があります。その際はご連絡します。
 ※7割出席にて修了証を発行します。
 ※申込み後に勤務先、連絡先等の変更をする際は、都協会事務局と担当理事までご連絡下さい。
 ※欠席する場合は担当理事までご連絡ください。

新人研修講座概要

<講師>

特別講義：当協会会長・小松 美智子 先生

八木 亜紀子 先生 (福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センター特任准教授 アアライ株式会社)

山谷 佳子 先生 (聖マリアンナ医科大学産婦人科学)

吉浦 輪 先生 (東洋大学ライフデザイン学部生活支援学科)

藤平 輝明 先生 (東京医科大学病院)

その他、現任ソーシャルワーカー

役割理解：樋口 昌彦 先生 (至誠会第二病院)

仲谷 恵美子 先生 (森山脳神経センター病院)

個別援助技術：小松 美智子 先生 (武蔵野大学客員教授・女性のくらしやすさを考えるソーシャルワーク研究会)

新人研修は内容としては特別講義・役割理解・個別援助技術の3部構成です。

<内容>

特別講義(全6回)は、新人ソーシャルワーカーとして是非知っておいて頂きたい内容として、様々な視点と領域から各テーマを設定しています。

役割理解は、組織の中でのソーシャルワーカーの位置づけや果たすべき役割、関係機関との協働などを中心に組織の中で役立つ基本的内容を講義していきます。

個別援助技術は、日常の相談業務を振り返りながら、面接をいかに行き、どのように進めていけば良いのか、相談者の抱えている本当の問題を発見し、理解するためにどうしたら良いのか・・・といった日常の相談業務に役立てられる内容の講義をしていきます。

<研修体系>

特別講義6回、役割理解を半日×2回、個別援助技術を半日×2回の全10回開催予定です。

～昨年度、新人研修受講生の声より～

- ◆支援者側もクライアントと同じような経験をしていることもある。その経験の時の気持ちを自分自身が理解し、支援するときに自分自身を常に客観的に見ることが重要だと気づいた。
- ◆関わるクライアントの中には、自分の思い描いていたイベントが病気などで現実起きることのように思えなくなってしまうのではないかと考えさせられた。クライアントの辛さや思いを分かろうとするのではなく、知ろうとすることが大切なのだった。
- ◆今まで、自分の同じ部署の人や自分が読んでわかれば良いという情報共有や引継ぎ等の意味で記録を残していたが、自分の仕事を他の人にわかってもらうような記録、事情がわからない人が読んでもわかるような記録を書くことよと聞き、今後は読まれるための記録ということを意識して記録業務に取り組んでいこうと思う。
- ◆MSWの役割や定義は幅広く、一つの正解はないということに気づくことができた。また、MSWとして感情をコントロールすることが重要であると考えていたが、自身の素直な感情も大切にしたいと知ることができた。対人援助を行う者として、相手を惹きつける人間的な魅力も大切であるとよくわかったので、今後は自身の素直な感情にも向き合いながら支援にあたれるようにしたい。

受講案内詳細

【グループスーパービジョンA・B・C】

定員	: A・B・Cそれぞれ9名
費用	: 東京都受託事業のため不要
申込期限	: 2021年5月7日(金)
申込方法	: 講座申込書に必要事項を記入し、下記メールアドレスへお送りください。ネット環境にアクセスできず、メールでの申し込みができない場合は、協会事務局までご連絡下さい。
送信先アドレス	: soudan@shinyamanote.jp (新山手病院 原田)

グループスーパービジョン等における事例の記載方法

グループスーパービジョンは、東京都の受託事業であり、受講者には必ず成果編集で、事例を提出して頂きます。

それは「医療ソーシャルワークの解決技法」という冊子として、東京都がまとめて都庁都民情報ルームや図書館などで広く一般に出回るため、提出の際に様々な配慮が必要となります。

そこで、東京都医療社会事業協会として、記載方法を統一しました。

記載方法の詳細については、グループスーパービジョン初回到教育部からご案内いたしますので、欠席のないようよろしくお願いいたします。

また事例を提出するにあたっては、基本的にクライアントの承諾を得てください。

原稿の提出

方法:	Eメールに添付するなど、担当者の指示に従い提出してください。
期限:	提出期限は基本的に次年度の4月末としますが、各研修の状況により期限が前後する場合があります。それまでの過程は、スーパーバイザーの指示に従ってください。

※提出していただいた原稿は、お返し致しません。また、冊子の校正を進める段階で、場合により

東京都の担当者が一部訂正・削除することもありますので、ご了承下さい。

※受講時の事例の配布についても、同じように特定されないような配慮をし、個人情報の保護に努めて下さ

2021年4月1日 一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンA

講師 渡部 律子 先生(前日本女子大学 教授)

【講師略歴】1976年 関西学院大学社会学部・1978年同大学大学院修士課程修了。相談援助職を経て1982年 米国ミシガン大学大学院に留学。1983年社会福祉学修士(M.S.W)。1988年心理学修士。1990年哲学博士(Ph.D.専攻:社会福祉学・心理学)。米国でも臨床実践。ニューヨーク州立大学バッファロー校、シカゴ大学社会福祉系大学院で教鞭をとる。1995年 関西学院大学助教授。1999年同大学教授。2011年 日本女子大学教授。ソーシャルワーカー、ケアマネジャーの研修、グループスーパービジョンなど多数実施(兵庫県介護支援専門員協会での「気づきの事例検討会」)するとともに専門誌でも対人援助職向けの連載執筆(例:「月刊ケアマネジャー」)

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			12日	10日	14日	11日	9日	13日	11日	8日	12日	12日
開催時間	15時00分-17時00分 第2土曜日開催											
会 場	Zoomによるオンライン開催											
対 象 者	経験年数3年以上の方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、欠席・遅刻・早退がありますと、証明書は発行出来ない場合があります。											

～渡部 律子先生より～

『新たな視点から実践を見つめなおす』
私は実践現場にいた時、自分が成長している実感を持つことができず悩んだ経験があります。そのような時、スーパービジョンが成長に役立つと実感しました。苦しいながら、自分の経験していることを言葉にすること、固定観念から自由になり異なる視点からケースを捉えなおしてみること、などの重要性に気づきました。クライアントにとって「役立つワーカー」になるためには(ただ言いなりになることではありません)、ソーシャルワーカーが最低限習得しておかなければならない知識・スキル基盤があります。しかし、その基盤はクライアントの多様性にあわせて応用していかなければならず、スーパービジョンは欠かせません。今回、私が実施する予定のグループ・スーパービジョン(以下GS)の方向性を以下に説明します。

【スーパービジョンの方向性:メンバーの力の活用、民主的な関係性、多面的・統合的アセスメント、建設的な思考の交流、今後使用できる知識・スキル基盤と思考の枠組み提供】

①私がスーパーバイザー(以後バイザー)役割をとりますが、全員が積極的に自分の考え、疑問を述べてセッションに参加できる「ピア・グループ(同僚間)・スーパービジョン」要素をとりいれます。(参考文献『気づきの事例検討会』の第3章第3節89ページから288ページまでに掲載している「8つの事例」のどれかを読むと、イメージできると思います)

②1回目はオリエンテーションで、メンバー同士を知り、その後の進め方の説明、資料の提供等を行います。2回目以降は毎週一人ずつ、私が準備する「ケースの報告様式」に沿って記述された内容をもとに、GSセッションを実施します。

③バイザーとスーパーバイザー(以後バイザーと呼ぶ)の関係性は、カデューシンたちが提唱している「民主的な関係」を基本にします。

④目指しているのは、単にその場での解決策を求めるのではなく、長期的にその方法が使える「多面的・統合的」なアセスメントができ、そこから支援法を導き出せるワーカーの養成です。担当クライアント、クライアントを取り巻く環境(フォーマルなサポート及びインフォーマルなサポート)、援助関係、所属組織で提供できる援助の可能性と限界、等をしっかりと見つめ直し、担当ケースの全体像理解(援助方針決定の際の根拠などを含む)をゴールにします。

⑤上のようなことを実施するのに必要な基盤となる知識・スキルやGS参加の際に必要な「思考の枠組み」などは、必要に応じて資料提供します。

スーパービジョンでどこに焦点を当てて課題を深めていけば良いのか、などを理解するには時間がかかります。そのことを想定して、段階を追って少しずつ学びを深めていきます。少しずつバイザーである私の関与を少なくし、最終的には、受講生のみなさんがピア・グループ・スーパービジョン実施の基本を身に付けられることを目指したいと思っています。

皆さんと一緒に学ぶことを楽しみにしています。

参考文献	<p>(参考文献:スーパービジョンが始まるまでにできれば読んでおいていただきたい本)</p> <p>①渡部律子(2011)『高齢者援助における相談面接の理論と実際』第二版、医歯薬出版。(1ページから148ページまで)序章、1章「援助職者の基礎を形成する視点」2章「援助関係を形成するもの」3章「アセスメント」4章「相談面接業務の全プロセス」5章「面接における言語技術」</p> <p>②渡部律子 編著(2007)『基礎から学ぶ気づきの事例検討会』中央法規</p> <p>ピア・グループ・スーパービジョンの概要(第1章 1ページから26ページまで)、必要な事前学習や勉強に関する内容(第2章 27ページから80ページ)、事例検討会に関してよく出てくる質問やそれに対する回答(第5章 313ページから327ページ)など。</p>
------	--

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンB

講師 石井 三智子 先生 (日本社会事業大学非常勤講師)

【講師略歴】1956年生まれ。広島県出身。中・高の教員(社会科)を経て、都内医療機関の医療ソーシャルワーカー、企業・在宅医療分野のクリニックのソーシャルワーカーを歴任。南山大学(文化人類学)、上智大学卒業。日本女子大学修士課程修了。兵庫県園芸療法士補。武蔵野大学(旧武蔵野女子大学)の専任教員を経て、現在にいたる。「平和教育」の実践を出発点に、被爆者の人権と証言への関心は、被爆2世としての私の原点でもある。この20年近くのインフォーマルなまたフォーマルな形の現役MSWへのサポートは、ライフワークの一つである。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			24日	22日	26日	30日	28日	25日	23日	27日	24日	24日
開催時間	19時00分～21時00分 第4木曜日開催(9月は第5木曜日開催)											
会場 対象者	Zoomによるオンライン開催 経験年数1年以上5年未満の方 注:認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、欠席・遅刻・早退がありますと、証明書は発行出来ません場合があります。											

～石井 三智子 先生より～

＜支援者の思考過程(プロセス)に焦点をあて、全体的、多面的にとらえる＞パート2

かつて学問の師が「熱い胸と冷たい頭」を持ってと言ったことばを思い出します。情熱と冷静さ、知性ということでしょうか。後に彼女は、介護(ケア)の領域も含めて、「強い腕」を加えました。技術、広くアートととらえられるかもしれません。

コロナ禍の中、医療現場の緊張は続き、医療ソーシャルワークの現場も大きく変化していると思います。問題の複雑化、困難化・・・わけても相手(他者)をより良く理解するための「面接」は、対面という形でことば・からだ(目線・身体表現)、その場のやりとりの空気感を総合して成り立ちます。さまざまな工夫が現場でなされているようですが、人と人が関わり、関係を取り結ぶ仕事に、対面の制限は大きな影響と試練を与えているものと思います。こうした状況下、今年度のテーマは、昨年度のテーマを引き継ぎ、もう一度私たちの原点(足元)を見直そうと思います。私たちの仕事は、根拠(知識や技術に裏打ちされた)を持ってなされた実践と、思考(おこなったことへの点検、複数の理論、その柔軟な応用)の循環によって、精度(支援の質)を高めることができます。その循環の経路が、思考を掘り下げる内省化そのものであり、ソーシャルワーカー自身の成長にもつながります。これは、クライアントおよび家族理解の深さ、チームの成長とも表裏一体の関係性をなしています。

「医療ソーシャルワーカー倫理綱領」、ソーシャルワーク専門職のグローバル定義の冒頭に、次のような文言があります。「ソーシャルワークは、社会変革と社会開発、社会的結束、および人々のエンパワメントと解放を促進する、実践にもとづいた専門職であり、学問である。社会正義、人権、集団的責任、および多様性尊重の諸原理は、ソーシャルワークの中核をなす。(後略)」日々の複雑で煩雑な業務の中、こうした文言を阻害する背景や要因だらけだと思えます。しかし、時間との闘いの中であって、これだけは守り抜きたい私たちの志を思い起こしてみましよう。本当のソーシャルワークは、矮小化されたものではなく多様性と総合性を持ったものであり、そのための学びの一つにこの場がなればと思います。

形式は、ピアサポートグループの形でやりたいのですが、基本は、ZOOM利用で、事例を複数の眼差しで検討、議論していく形になります。体感する学びとするために、可能であれば1～2回、リアルな対面を検討したいと思います。文献、資料は適宜、紹介します。

参考文献	(1)奥川幸子『身体知と言語』～対人援助技術を鍛える～中央法規 2007 (2)渡部律子『福祉専門職のための統合的・多面的アセスメント』～相互作用を深め最適な支援を導くための基礎～ ミネルヴァ書房 2019 (3)日本精神保健福祉士協会監修『実習指導とスーパービジョンにおける思考過程』中央法規 2020 (4)緒方正人『チツッは私であった』～水俣病の思想～河出文庫 河出書房 2020 (5)長谷川真理子『世界は美しく不思議に満ちている』～共感から考えるヒトの進化～青土社 2018
------	--

～昨年度の受講者の声より～

◆ソーシャルワーカーとして大切にしたいクライアントとの援助関係などをこのGSVを通して丁寧に紐解く事が出来、ソーシャルワーカーとしての今後の自身の姿勢や考え方に大きく影響を受けました。

◆自身の迷った事例について先生や他病院のソーシャルワーカーの意見を聞くことができたのがとても勉強になった。

◆オンライン研修でも工夫次第で同じ職種との横の繋がりを広げられた事は非常に大きな財産となった。

受 講 案 内 詳 細

グループスーパービジョンC

講師 助川 征雄 先生 (聖学院大学 名誉教授)

【講師略歴】民間精神科病院、神奈川県(精神保健福祉士)勤務。1977、1987年に英国留学。主に精神障害者の地域生活支援、および英国モデルの支援施策や方法などの研究と応用に従事。現在は、田園調布学園大学および聖学院大学人間福祉学部・同大学院教授を経て、聖学院大学名誉教授。総合研究所・スーパービジョンセンタースーパーバイザー。

開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			18日	16日	20日	17日	15日	19日	17日	21日	18日	18日
開催時間	19時00分～21時00分 第3金曜日開催											
会 場	Zoomによるオンライン開催											
対 象 者	経験年数4年以上の方 注: 認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、 <u>欠席・遅刻・早退</u> がありますと、 <u>証明書</u> は発行出来ない場合があります。											

～助川 征雄先生より～
【実践に役立つ新たな視点や技法(地域包括時代のSWの役割、望ましい対人支援のありかた)】

このGSVでは、参加者の自由な発言や体験交流を大切にしたいと思います。特に医療機関という高度な技術やサービスが期待される職場ならではの苦勞があると思います。多職種とともに働く喜びと同時に、ソーシャルワーカーは何をなすべきかという、「役割をはたすための様々な工夫や苦心」が多々あると思います。それらを忌憚なく自由に吐露できる場にぜひできたら良いなと願います。ソーシャルワーカーは、その役割の中心に「生活支援」を置いてきました。しかし、少子高齢化や社会格差などに加え、コロナ禍で生活環境の複雑化が加速しています。また地域包括支援方針のもと、医療保健福祉ニーズがますます多様化し、現場は、さらなる負担を余儀なくされているのではないのでしょうか。しかし、これらの医療の高度化や地域化の中、クライアントの生活支援やささやかでも、夢や希望の実現によりそう、身近な相談援助者としての役割が一層重要になってくるのではないのでしょうか。それは、「アナログ的で人間的なかかわり」を大切にし続けるということ」にほかなりません。

今回もまた私は、これまでの経験をもとに、様々なご経験に耳を傾け、苦樂を分かち合い、専門職としての未来への夢や希望を語り合いたいと願うものです。

なお、GSVの参加者は原則9名程度とし、毎回順番に1事例を提出していただき、次回の事例提出者に司会進行をお願いしたいと思います。

時間配分は、事例報告に40分程度、その後、約1時間余自由討議をお願いしたいと思います。事例発表にあたっては、原則として、クライアントの了解を得て、資料表記は匿名でお願いします。また、下記参考文献をご覧ください、GSVへのモチベーションを高めていただければ幸いです。

参考文献	助川征雄; ふたりぼっち(精神科ソーシャルワーカーからの手紙 ～新書)・万葉舎2015 助川征雄; (福祉の現場で役に立つ)スーパービジョンの本: 河出書房・2012 柏木昭、佐々木敏明; ソーシャルワーク協働の思想: へるす出版・2010
------	--

～教育部より～
 昨年度は、新型コロナウイルスの影響もあり開催できませんでした。
 例年参加頂いた方からは、「業務での悩みや困った事など、経験年数が近いメンバーと共有し、アドバイスをもらうことができた」、「受講後に少し前向きになれた」、「先輩SWから後輩SWへ実践的なアドバイスができて有意義だった」とのご意見があります。ご参加お待ちしております。

受 講 案 内 詳 細

スーパーバイザー養成講座

講師 福山和女先生(ルーテル学院大学名誉教授)

【講師略歴】同志社大学卒。同大学大学院修士課程修了。カリフォルニア大学バークレイ校修士課程修了。公衆衛生学修士(MPH)。Catholic University of America大学院博士課程修了。社会福祉学博士(DSW)。スーパービジョン・コンサルテーション研修では、全国各地で保健・医療・福祉の専門家たちの指導にあたっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日			15日	13日		14日	12日	16日	14日	11日	15日	
開催時間	18時30分～20時30分 第3火曜日 開催											
会場	Zoomによるオンライン開催											
対象者	経験年数2年以上の方 注：認定医療社会福祉士のポイントを申請される方は、欠席・遅刻・早退がありますと、証明書は発行出来ない場合があります。											
定員	12名程度 受講申込数が定員の4割以下の場合、講座が中止になる場合があります。											
費用	25,000円(税込) 受講決定者には、後日、振込用紙を配布します。											
申込期間	2021年5月7日(金)必着											
申込方法	講座申込書に必要事項を記入し、添付のうえ下記宛にメールにてお申し込み下さい。 送信先アドレス:soudan@shinyamanote.jp (新山手病院 原田)											

福山和女先生より

この講座の名前が、スーパーバイザー養成講座となっている理由があります。講師としては、スーパービジョンでいうところのスーパーバイザーとしての責任を遂行する機能をもたないことが特徴です。受講者の方々の業務遂行能力を育成することに力点を置いています。受講者が「難しい」と叫び声を出しています。でも、その叫びは日ごろのソーシャルワーク業務活動の中で、疑問点・困難点を抱かざるをえない現場で働いていられるからです。決して、受講者が業務を軽視したり、手を抜いたりしているわけではありません。皆さんは、できうる限りの努力をして業務をなさっています。この講座では、その専門性の高さをなんとか明らかにすること、その活動に妥当性を見つけるための話し合いをすることです。

同僚、部下の育成が問題となっていますが、スーパーバイザーである皆さんのやり方が問題なのではありません。むしろ、そのような現象が生じる社会の事象ですので、スーパービジョンでは、その事象をうまく活用して、ソーシャルワーク実践の意義を深めていきましょう。「さすがソーシャルワーカーさんですね」と言われたいものです。

スーパービジョンの話し合いでは、所属組織の課題も取り上げることになりますが、情報開示の件は十分に考慮して行います。秘密保持の原則を順守し、「アメリカでは・・・」というように、内容を加工して話し合います。これも、専門家に求められる能力ですのでそのトレーニングも致します。

参考文献

「ソーシャルワークのスーパービジョン」ミネルヴァ書房
「統合的短期的スーパービジョン」金剛出版

～ 教育部より ～

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で研修が開催できませんでした。
本研修は毎年参加希望が多い研修であり、講師と相談の上、Zoomによるオンライン形式で開講予定です。
奮ってご参加ください。

2021 年 度 講 座 申 込 書

	講座名	コース選択等	
<input type="checkbox"/>	新人研修		
<input type="checkbox"/>	グループ スーパービジョン	<input type="checkbox"/>	A
		<input type="checkbox"/>	B
		<input type="checkbox"/>	C
<input type="checkbox"/>	スーパーバイザー養成講座		
申込 動機			
私は、上記研修で取り扱われる個人情報研修内に留め、守秘義務を遵守することに			
<input type="checkbox"/> 同意します <input type="checkbox"/> 同意しません			

※希望する講座・コースの□にレ点のチェックを入れてください。

※申込動機も必ず記入してください。

申 込 者	フリガナ		性別	年齢	経験年数	
	氏	名	男・女	歳	年	ヶ月
所 属 機 関	名称		部署			
	住所 〒	— (※郵便番号は必ず記入)	電話	—	—	
	区・市		FAX	—	—	
			Mail	@		
	緊急連絡先	(携帯・自宅	—	—)	

オンライン受講時の使用端末	<input type="checkbox"/> PC	<input type="checkbox"/> タブレット	<input type="checkbox"/> スマートフォン
---------------	-----------------------------	--------------------------------	----------------------------------

※所属機関以外の個人情報は、受講生名簿に掲載しません。

また、受講申込等の管理と担当者からの連絡以外に使用することはありません。

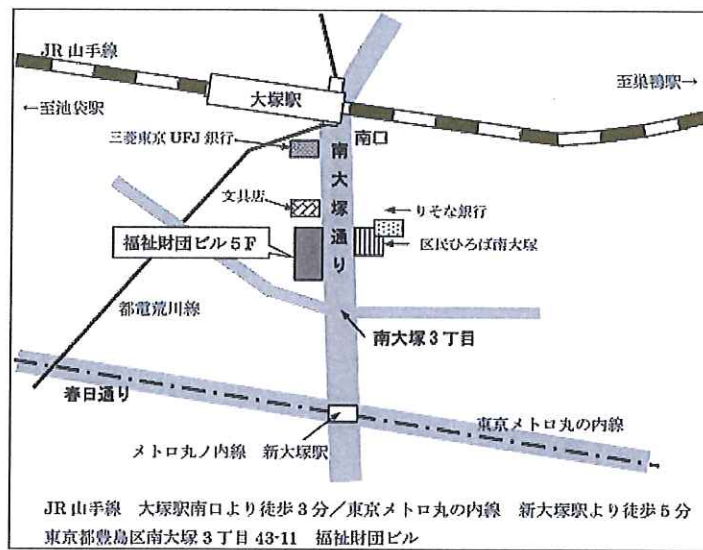
※自宅会員の方は、自宅住所等を記入してください。

※緊急時連絡先は、必ず記入して下さい。研修の中止や変更時等、緊急の連絡の際に使用します。

※メールアドレスは研修資料やZoomID等をお送りするため、日常的に使用するものを記入してください。

可能な限り、携帯電話のアドレス以外でお願いします。(研修資料が容量の問題で送信できないため)

一般社団法人 東京都医療社会事業協会 教育部



一般社団法人 東京都医療社会事業協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚3丁目43-11

福祉財団ビル5F

TEL 03-5944-8912

Fax 03-5944-9745